

国府弘子スペシャルトリオ



あうんの呼吸で音の会話を繰り広げる「国府弘子スペシャルトリオ」は2023年に結成24年を迎えた。日本人離れしたブルーヴィンテージなベーシスト八尋洋一、若者たちに神ドラマーと慕われるイマジネイティブな岩瀬立飛。リーダー国府弘子はクラシックで磨いた極上の音色に、ジャズ、ロック、ブラジル音楽と豊富な音楽経験をブレンドした演奏で大人気のピアニスト。最新作『ピアノ・パーティ』はこのトリオを中心に制作。新境地を開く。

国府 弘子 [こくぶ ひろこ] (ピアニスト/作・編曲家)

国立音楽大学ピアノ科を卒業後、単身渡米。帰国後1987年デビュー。自己のトリオやソロコンサート、またオーケストラとの競演まで幅広い活動で人気の“ピアノ界のスーパーレディ”。川崎市市民文化大使、入間市文化創造施設アドバイザー、平成音楽大学・尚美学園大学客員教授。2019年秋に川崎市文化賞を受賞。音色の贅を極めたソロアルバム「ピアノー丁!」岩崎宏美×国府弘子のデュオ作品「ピアノ・ソングス」に続き、最新作「ピアノ・パーティ」は結成24年の鉄壁のトリオでの“あうんの呼吸”を堪能できる。

国府弘子オフィシャルホームページ <http://kokubuhiroko.net>

八尋 洋一 [やひろ よういち] (ベース)

10代をスペイン・カナリア諸島で過ごし、ラテン音楽に精通する。帰国後様々なバンドでライブ活動を展開。国府弘子バンドには1991年参加、以来、国府サウンドの要となっている。「スピーク・アンド・スパン」「日野皓正エレクトリック・バンド」「大貫妙子」「中本マリ」「遠藤律子」他、参加バンドは多数。ブラジリアン、ラテン、ロック、ジャズ、フュージョンと幅広い分野のクリエイティブな演奏で人気を博している。身体ごとグルーブするプレイは聴衆を魅了する。

岩瀬 立飛 [いわせ たっぴ] ドラム、パーカッション、作曲家

1988年渡米しピーター・アースキンに師事。GROOVE SCHOOL OF MUSICで作編曲も学ぶ。ジャズからオーケストラまで扱える作編曲家、ドラマーの配役である俳優の為の演奏指導、後進の指導やワークショップなど多岐に渡る。彼自身の活動するバンド「宴」でのアルバムリリース、教則DVD「フィル・インの常套句」等、好評を博している。洗足音楽大学講師。

Guest: 阿川 泰子



神奈川県鎌倉市出身。文学座演劇研究所にて演劇を学ぶ。女優として東宝映画「華麗なる一族」「青春の門」に出演。その後、ジャズボーカリストとしての道を歩みはじめ、1978年に1stアルバム『Yasuko "LOVE-BIRD"』をリリース。1981年発表の5作目のアルバム『SUNGLOW』は日本のジャズシンガーとしては異例の60万枚の大ヒットを記録。その後もコンテンポラリーなアプローチの作品を制作し続け、セルジオ・メンデス、ジョー・サンプル、イヴァン・リンス、ロン・カーター、等海外の著名アーティストとのコラボレーションも多数。

1987年～1994年には日本テレビ系のトーク番組「オシャレ30・30」にレギュラー出演。ゲスト陣とのトークに加えて毎週1曲延べ360曲披露する。

2014年から各地で「クロスオーバー・ナイト・ライブ」を開催。

日本ジャズ音楽協会から、2017年「ジャズ大賞」、2019年「名誉会長賞」を受賞。